

事業所名：しましまハウス河合

作成日：令和3年11月1日

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|--|--------------------------------------|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 6 | 入所年数が長くなると、どうしても御家族が施設への来所、面会の頻度が減り、入居者様の望郷の念が強くなったり、夕暮れ症候群としての症状が出たりしている現状がある | 御家族様の来訪回数の働きかけ | 御家族様とのケアプランの確認時、季節の衣替え、推進会議の出席等、少しでも入居者様との面談、面会の時間や電話での対応等、増やせる様に働きかける | 12 か月 |
| 2 | 10 | 御本人が、うまく言葉で表せない思いを正しく理解し、支援する事が必要だが、本人の思いもその時々に変わる事があり、どの様な支援が必要か、見極める事が必要 | 御本人が必要としている支援内容をチームで理解し、希望等を正しく支援できる | 職員がみんなの目で「できるようになる事」「できなくなったこと」を見極め、日々の生活の中で、具体的な支援を提供する | 12 か月 |
| 3 | 18 | 入居者様、それぞれの身体状態、能力の違いもあり、集団での生活リハビリや散歩等、行動範囲が狭まっている現状がある | 身体能力を、段階分けし、個々の潜在能力を活かし、健康寿命を延ばす | 日々の生活リハビリの中で、個々の能力を活かすため、行政が行っている、シルバーリハビリ体操指導士養成講習を職員が受講し、運動機能の維持、回復に取り組んで行く | 12 か月 |
| 4 | | | | | か月 |

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。